



©Yuki Asada

ラオ族のオシャレな織物

ベトナム北西部、国境近くの山間部にあるナサンII村。60世帯ほどの小さな村で暮らすラオ族は、古くから織物が得意な民族として知られている。

趣ある高床式の家屋には、必ずといっていいほど木製の機織り機がある。先祖代々の技を受け継ぎ、家事の合間や農閑期などに機織りを行う女性たち。近年、絹や綿などを生産する農家が減り、原料の調達が困難になってはいるが、近隣国から仕入れながら、人々は懸命に自分たちの文化を守り続けてきた。

特徴はきめ細やかな織柄。どれも思わず目を奪われるほどの美しさだが、これまでは一枚布やスカートなど実用品の製作にとどまっていた。そこでJICAは

この村の地場産業として織物を定着すべく、縫製技術の講習などの支援を実施。手織りの味を生かしたかばんやポーチなどの手工芸品の製作に取り組み始めた。

「控え目でシャイな彼女たちですが、新たな技術の習得が自信につながり、今では展示会で自ら進んで製品の説明をするまでになりました」と音羽幸保・JICA専門家。首都のホテルや観光地のお土産物屋でも販売されるようになり、村にも活気が出てきた。

布に織られた動物や伝統的な模様には、それぞれ意味があるという。この刺繍に込められた言い伝えは何だろうー。そんな風に思いをはせるのもいいかもしれない。



機織り機で丁寧に細かい柄を織り込んでいく

★ポシェットを4人、ティッシュケース、エコバッグを各3人、ハンドバッグを2人、ブックカバー、ランチョンマット&コースターを各1人にプレゼント!→詳細は38ページへ



ナサンII村

ベトナム